

<白金標準、4600 円を固めながら 4847 円を試すチャンス待つ・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領はスイスのダボスで開催された世界経済フォーラム（ダボス会議）で OPEC に対して原油価格の抑制を示唆し、インフレが抑制されれば利下げを行うと言及している。また欧州や中国に対して麻薬の原料を理由に関税 10%を課すとの発言を行っているが、1 期目の 25%に比べると低減した事からユーロは対ドルで買い戻しの動きを強めながら、昨年 12 月以来の 1.052 ドルまでユーロが買い戻しされている。

またトランプ大統領は、ロシアに対してウクライナ情勢で和平協議を進めるように提言し、拒否するなら制裁を課すとの発言を受け、ロシア産が世界の 7 割を占めるパラジウムは 1000 ドルを回復し、そのため NY 白金は、950 ドルで抵抗を見せると週末には 984.7 ドルまで高値を試している。そのため白金標準先物は、4601 円で下げ渋ると 4741 円まで戻りを見せており、目先の高値 4847 円に向けて高値追いを強めて来ると思われる。特に今週は FOMC や ECB 理事会、中国では 2 月 4 日まで春節の連休に入る事などイベントと合わせて高値追いを続ける事が出来るかに注目されると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** は切り上げながら、**シグナル**も切り下げている。RCI では**短期**が上昇し、**長期**は下げている。そのためオシレーターは強気への転換待ちであり、**MACD** のクロスを待つ強気のエントリーが妥当に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,100,000 円(2025 年 1 月 27 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2025 年 1 月 27 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>